

第103期 中間事業のご報告

平成22年 4月1日～平成22年 9月30日



トヨカネツ 株式会社

(証券コード：6369)

株主の皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第103期の「中間事業のご報告」をお届けするにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

当中間期のトーヨーカネツ・グループの業績は、急激な円高等の厳しい状況にあるものの、主力の機械・プラント事業及び物流システム事業における既受注大型案件の着実な遂行、及びプロジェクト管理の強化の結果、売上高、営業利益、経常利益は、前年同期を上回りました。しかしながら、投資有価証券評価損及び資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額等により、純損失を計上することとなりました。

当社グループにおきましては、このような経営環境の急速な変化に、迅速且つ的確に対応し、安定収益が確保できる経営基盤の構築に取り組むとともに、平成

21年度にスタートした中期経営計画の目標達成に向けて、重点施策を確実に実行し、グループ企業価値の一層の向上を図ってまいります。

なお、当期の配当金につきましては、中間配当を行わず期末配当のみとし、その金額は、安定配当継続の観点から、前年度に引続き1株につき4円を予定しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成22年12月
取締役社長 水上 健



主力事業の基本方針と中期経営計画における重点施策の進捗

【主力事業の基本方針】

当社は「優れた技術、製品、サービスを裏付けとして持続的に成長・発展するグループ」をグループの経営ビジョンとし、機械・プラント事業は「安定的な収益の確保」、物流システム事業は「事業の再生と基盤の確立」を事業の基本方針としております。

【中期経営計画における重点施策の進捗】

機械・プラント事業

- ・ 価格競争力の強化……バタム工場の近隣地を購入し工場建屋の建設と加工設備の増強を行っております。
- ・ 研究開発の促進……LNGタンクの本体に使用する新材料の開発は最終段階となり、また高能率の溶接技術は研究を終え、建設中のタンクに採用予定です。

物流システム事業

- ・ 価格競争力の強化……省エネを実現した低コストコンベヤ（エコロベヤ®）への機種統一と積極的な採用を推進しております。
- ・ 提案力の強化……組織の総合力を結集し、低コスト・最適システムの提案力を強化しております。
- ・ 成長領域への攻勢……卸・小売・3PLの重点顧客に経営資源を集中し、受注機会の拡大に努めております。

また今期よりこれらの重点施策に加え、4つの課題①損益分岐点の改善②コア技術力強化③サービス事業拡充④海外展開を推進しております。

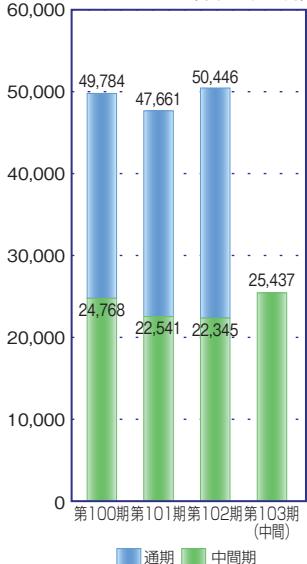
建築事業

建築業界の厳しい環境下ながら、成長が期待されている福祉関連施設や、環境に優しい工法を採用した鋼管杭の受注拡大と、コスト削減や工事管理体制の強化による原価低減を図り、収益基盤の一層の強化を進めております。

連結財務ハイライト

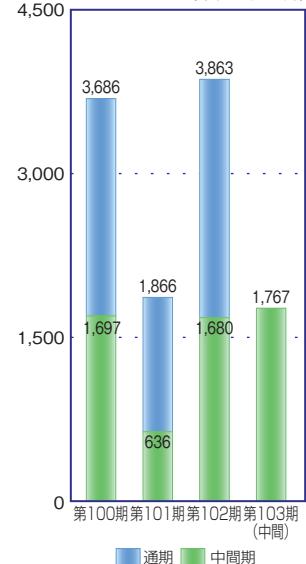
売上高

(単位：百万円)



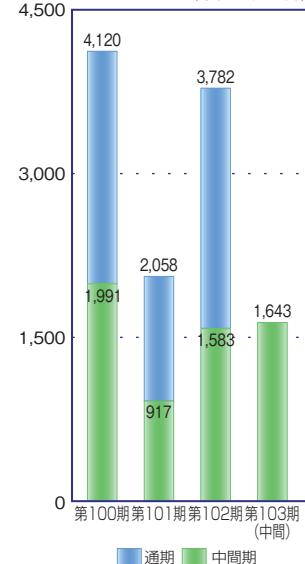
営業利益

(単位：百万円)



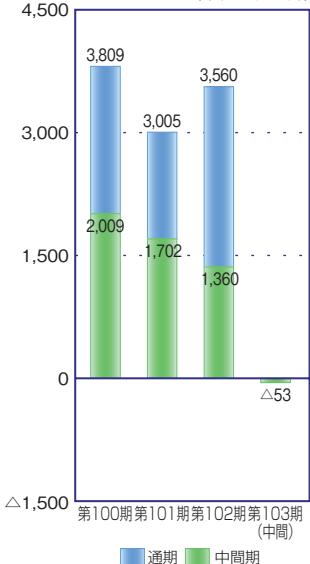
経常利益

(単位：百万円)



中間(当期)純利益

(単位：百万円)



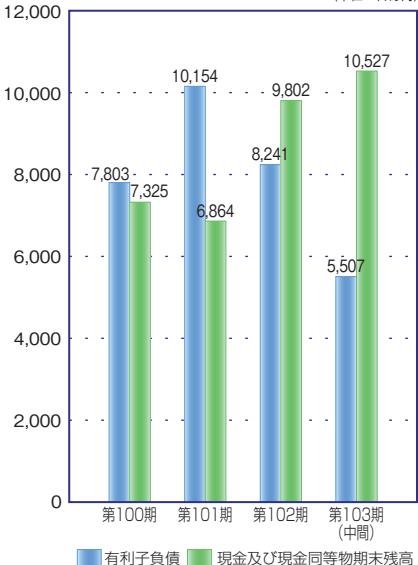
純資産・総資産

(単位：百万円)



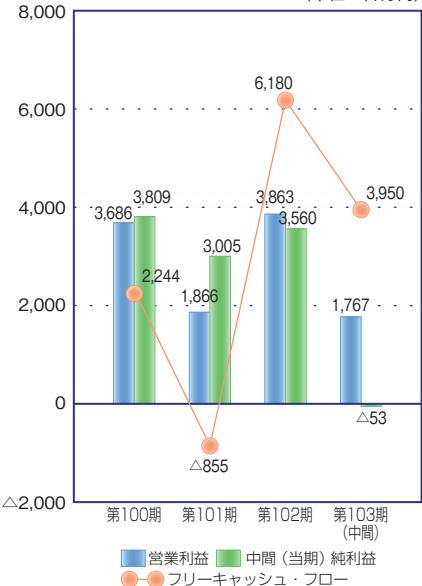
有利子負債と現金及び現金同等物期末残高推移

(単位：百万円)



損益とフリーキャッシュ・フロー

(単位：百万円)



連結財務諸表（要約）

連結貸借対照表（要約）

（単位：百万円）

	第102期 平成22年3月31日現在	第103期第2四半期 平成22年9月30日現在
（資産の部）		
流動資産	37,747	33,466
固定資産	20,620	18,973
有形固定資産	12,489	12,617
無形固定資産	338	303
投資その他の資産	7,791	6,053
資産合計	58,367	52,440
（負債の部）		
流動負債	20,842	19,064
固定負債	7,249	3,870
負債合計	28,091	22,934
（純資産の部）		
株主資本	29,549	28,994
評価・換算差額等	617	388
少数株主持分	109	121
純資産合計	30,276	29,505
負債純資産合計	58,367	52,440

通期見通し（連結）

（単位：百万円）

	第102期実績 平成21年4月1日 ～平成22年3月31日	第103期見通し 平成22年4月1日 ～平成23年3月31日
連結 売上高	50,446	51,200
営業利益	3,863	2,750
経常利益	3,782	2,430
当期純利益	3,560	610

連結損益計算書（要約）

（単位：百万円）

	第102期 第2四半期累計 平成21年4月1日 ～平成21年9月30日	第103期 第2四半期累計 平成22年4月1日 ～平成22年9月30日
売上高	22,345	25,437
売上総利益	3,674	3,832
販売費及び一般管理費	1,994	2,064
営業利益	1,680	1,767
営業外収益	198	240
営業外費用	295	365
経常利益	1,583	1,643
特別利益	518	64
特別損失	10	1,296
税金等調整前四半期純利益	2,091	411
法人税、住民税及び事業税	81	323
法人税等調整額	633	130
少数株主損益調整前四半期純利益	—	△ 42
少数株主利益	16	11
四半期純利益	1,360	△ 53

連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	第102期 第2四半期累計 平成21年4月1日 ～平成21年9月30日	第103期 第2四半期累計 平成22年4月1日 ～平成22年9月30日
I. 営業活動によるキャッシュ・フロー	3,580	4,471
II. 投資活動によるキャッシュ・フロー (フリーキャッシュ・フロー I+II)	△ 32 3,547	△ 521 3,950
III. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,244	△ 3,090
IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 133	△ 135
V. 現金及び現金同等物の増減額	2,169	724
VI. 現金及び現金同等物の期首残高	6,864	9,802
VII. 現金及び現金同等物の四半期末残高	9,034	10,527

機械・プラント事業

バタム工場（インドネシア）を拡張

当社の主力工場であるインドネシア・バタム工場〈シンガポールの南約20kmに位置するバタム島内〉は、1978年の開設以来、海外の製造拠点として原油タンク、LNGタンク、LPGタンク、球形タンクなど1,250基を超える製造実績を重ねてまいりましたが、この度、アジアにおけるエネルギー需要の高まりを受けた旺盛な石油・天然ガスプロジェクトに対応するため、近隣地を購入（41,000㎡）し、工場の拡張を図っております。また、これを機に塗装作業の内製化や工場の業務改革を推進し、生産性の向上と競争力の強化に取り組んでおります。



既設工場



増設工場

物流システム事業

新製品にご支持・ご要望の声が多数

この度、多目的自動保管システム「マルチシャトル」の発表会を9月13日～16日にかけて千葉事業所において開催し、4日間で74社、のべ200名のお客さまをお迎えしました。同製品は“保管”に加え“ピッキング”“補充”“仕分け”の4機能を1つで実現でき、省スペース・高能力で、イニシャル・ランニングコストともに削減効果が大きいことを改めて実感していただきました。

また、9月15日～17日に東京ビッグサイトにて開催されました「自動認識総合展」には、ボイス（音声認識）システムとRFIDソリューションを出展し、3日間で600名以上のお客さまにご来場いただきました。特に、ボイスシステムを活用した、会話形式でのピッキング作業のデモンストレーションは注目度が高く、展示直後からたくさんのお問合せやご要望の声を頂戴しております。

マルチシャトル
発表会

自動認識総合展

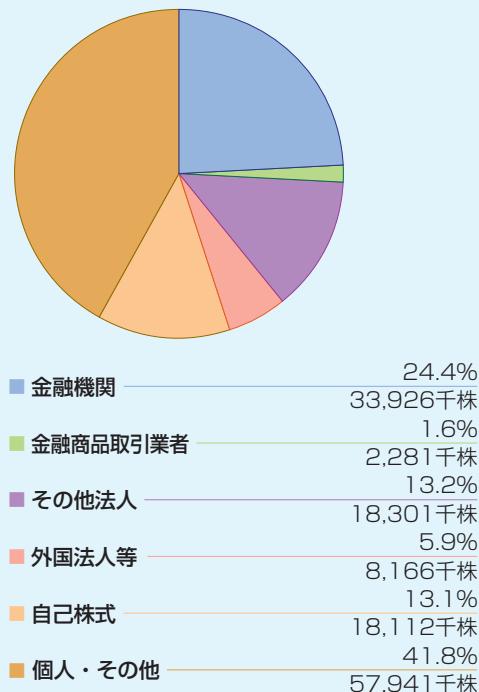
セグメント別営業の概況

株式の状況

平成22年9月30日現在

発行可能株式総数 297,000,000 株
 発行済株式総数 138,730,741 株
 株主数 17,635 名

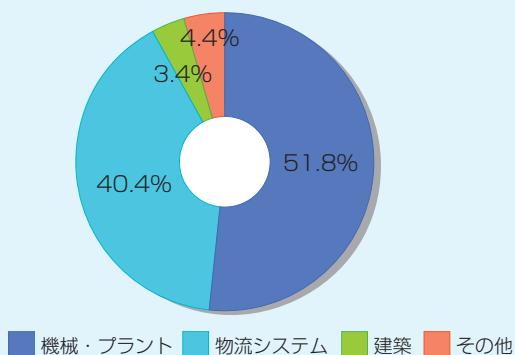
所有者別株式分布状況



セグメント別売上高 (単位：百万円)



セグメント別売上高



セグメント別営業利益 (単位：百万円)



※内部売上高または振替高を消去する前の数値に基づき表示しています。

商号 トーヨーカネツ株式会社
TOYO KANETSU K.K.
設立年月日 昭和16年5月16日
資本金 185億80百万円
所在地 東京都江東区東砂八丁目19番20号
事業所 本社 東京都江東区
千葉事業所 千葉県木更津市

役員
代表取締役社長 水上 健
常務取締役 島崎 真次
取締役兼上席執行役員 有田 貞雄
取締役 柳川 徹
取締役兼上席執行役員 藤吉 昭二
取締役兼上席執行役員 下前 功
常勤監査役 能條 輝夫
社外監査役 日野 正晴
社外監査役 宮川 恵一
社外監査役 中村 高

グループ会社一覧

機械・プラント事業

- アル・ガリーラ エンジニアリングアンド コンストラクション社
- トーヨーカネツインドネシア社
- ティーケーケーユーエスエー社
- トーヨーカネツシンガポール社

オマーン
インドネシア
アメリカ
シンガポール

機械・プラント事業／物流システム事業

- トーヨーカネツマレーシア社

マレーシア

物流システム事業

- トーヨーカネツ ソリューションズ株式会社
- ケイ・テクノ株式会社

東京都江東区
東京都江東区

建築事業

- トーヨーミヤマ工業株式会社

千葉県木更津市

その他の事業

- 株式会社ティケイエル
- 株式会社トーヨーサービスシステム
- トーヨーコーケン株式会社
- 株式会社マナビス

東京都江東区
東京都江東区
東京都江東区
千葉県浦安市

ホームページのお知らせ



TOP画面



IR情報ページ

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>
当社に関する情報がご覧になれます。

株主メモ

事業年度 4月1日～翌年3月31日

配当金受領 期末配当金 3月31日

株主確定日 中間配当金 9月30日

定時株主総会 毎年6月

株主名簿管理人・
特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
〒137-8081
東京都江東区東砂七丁目10番11号
TEL 0120-232-711 (通話料無料)

上場証券取引所 東京証券取引所

公告の方法 電子公告により行います。ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載致します。

公告掲載URL

<http://www.toyokanetsu.co.jp/>

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、单元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎ致します。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

トヨカネツ 株式会社

本社 〒136-8666 東京都江東区東砂八丁目19番20号
TEL.03 (5857) 3333 (代表) FAX.03 (5857) 3170

